

採卵 - 胚移植 (IVF-ET) で入院される方へ ❀

担当医：

担当助産師：

金沢大学附属病院 西病棟 5

◆ 入院の流れ ◆		平成 年 月 日 時入院	◆ お知らせ ◆
病室ご案内	()号室へ ※事前にお渡しした書類等を提出していただきます。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 本日の採卵で()コの卵子が取れました。 ・ 化膿止め(トミロン)、止血剤(トランサミン)は朝・昼・夕の一日3回、なくなるまで飲み続けて下さい。 ・ ホルモン剤(デュファストン錠)は 月 日の朝から内服して下さい。 ・ 本日は入浴を避け、シャワーのみとしましょう。 ・ 帰宅後、性器出血が止まらなかったり、下腹部痛が生じた場合にはすぐにご連絡下さい。
着替え	ピンクの手術着に着替えていただきます。		
処置	ホルモン濃度を確保するための採血と麻酔をするための点滴を行います。 排尿を済ませて病室でお待ち下さい。		
採卵室へ	スタッフの案内のもと、採卵室へ入室いたします。 ※パートナーの方は病室あるいはディルムでお待ち下さい。		
モニター装着	麻酔をするため、モニターを装着し、全身状態を常に確認させていただきます。		
お名前確認	採卵室入室後に再度、医師がお名前を確認した後、エコーで卵胞の状態を確認します。		
麻酔注射	注射にて麻酔をかけると徐々に眠くなってきます。この際、気分不快等がありましたら、すぐに声をおかけ下さい。		
採卵開始	採卵が始まります。痛みが強い場合には、我慢せず声をかけて下さい。		
採卵終了	少量の出血がありますので、膈内にガーゼが1枚挿入されるため多少の違和感が生じます。		
病室後安静	採卵できた卵数、卵の状態について医師から説明があります。 麻酔がかかっていますので病室で2～3時間程度安静にさせていただきます。この際、お食事を摂ってもかまいません。ただし、性器出血が増えてくるようならば、すぐにナースコールを押してお知らせ下さい。点滴はなくなりしだい終了します。		
膈内ガーゼ抜去	安静が解除されたらご自分でガーゼを抜いていただきます。ガーゼの端が少し出ているので、そこを引きますと簡単にガーゼを抜くことができます。その後、流れるような出血があるようならお知らせ下さい。		
退院	スタッフから内服薬と胚移植についての説明があります。 麻酔の影響が残りボーッとしている事がありますので、ご自分での運転は禁止です。必ず、バスかタクシーを御利用下さい。		
採精 (パートナー)	パートナーの方は、個室のトイレで採精して下さい。スタッフが採精用の容器をお渡しいたします。なお、採精の時間は採卵終了後にお伝えいたします。 ※精子は光に弱いので、光が入らないようにアルミホイルで容器を包み附属の封筒に入れ、採精後すぐにスタッフにお渡し下さい。		<p>◆ 胚移植について ◆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 月 日 am / pm 時頃に下記の電話番号に電話をし、卵子の受精状況を確認して下さい。 <p>TEL : 076 - 265 - 2966 (西 - 5)</p> <p style="text-align: center;">★胚移植を予定された方★</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> 月 日 am / pm 時に外来受診手続きをした後、西病棟5階へ来て下さい。なお、土・日・祝日や17時以降の場合には、救急部にて受診手続きをして下さい。 <p>○来院後・・・</p> <p>待機室で手術着に着替え、採卵室で受精卵を子宮内に戻します。終了後、うつ伏せ or 仰向けの姿勢で3時間程安静にした後、帰宅となります。当日は、激しい動きなどは控えましょう。</p>